

桑野玲子東京大学教授と学べる

東京港トンネルウォーキングツアー

開通前の今だけ！ 国道357号海底トンネルに潜入！

大井からお台場まで歩いていく大人の探検！

12月14日（土）実施

公益社団法人土木学会土木広報アクションプラン小委員会（所在地：新宿区、会長：橋本鋼太郎、委員長：大石久和一般財団法人国土技術研究センター国土政策研究所長）、一般社団法人日本建設業連合会（中央区、会長：中村満義鹿島建設株式会社社長）、株式会社ジェイティービー（品川区、代表取締役社長：田川博己）は、現在、工事中の国道357号東京港トンネル（整備区間約1.9km）を歩いて見学するウォーキングツアーを企画しました。

土木工事現場の見学を通じて、モノづくりの面白さ、社会資本の果たす役割を市民の皆さんに知ってもらうとともに、土木学会100周年事業として土木と市民の皆さんとの交流を促進することを目的としています。

国土交通省では、首都高速道路湾岸線の東京港トンネルに平行して、一般道路である国道357号の東京港トンネルを整備中です。これが開通すると、慢性的に渋滞している高速湾岸線の交通が分散されるほか、羽田空港や湾岸地域の物流拠点とのアクセス性が向上されるなどの効果が期待されます。また、2020年東京オリンピックが開催される際には、競技会場となる臨海部と都心とを結ぶルートの一つとしても機能します。東行き（千葉方向）と西行き（横浜方向）の2本の海底トンネルを整備する計画のうち、西行き（横浜方向）のトンネルが2013年10月に貫通し、今後、2015年度内の開通を目指し、設備工事などを行う予定です。

今回は、貫通直後のトンネルを大井側から入り、お台場側へと歩いて見学します。途中、トンネル中間地点で工事に関する説明を行うほか、お台場での昼食時間には、東京大学生産技術研究所教授で土木技術者女性の会会長の桑野玲子先生による、東京都心における地下空間利用に関する講演があります。

集合場所から解散場所までツアー全体で3～4km程度歩くため、大人向けの企画となっています。11月22日（金）より、JTBホームページよりお申し込みできます。

土木学会では、社会コミュニケーション委員会の下に「土木広報アクションプラン小委員会」を設置し、効果的な土木広報のあり方について検討してきました。今回のツアーは、土木関係者の総力を結集した土木広報の取り組みの一つとして、日本建設業連合会の企画協力、旅行会社によるツアー運営、国土交通省関東地方整備局及び建設会社の現場協力を得て、有料社会実験ツアーとして試行的に実施するものです。8月24日に開催した、東京外かく環状道路千葉県区間における「夏休み！親子で学べる道づくりツアー」に続く、工事現場見学ツアー試行第2弾の企画です。

社会コミュニケーション委員会及び土木広報アクションプラン小委員会では、今後、工事現場見学ツアーが全国で継続的に展開していくことができるよう、この試行で得られた知見を整理するとともに、土木と市民の皆さんとの交流をこれまでよりいっそう促進していきます。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

土木学会 土木広報アクションプラン小委員会 幹事会委員 佐々木 正^{ささきただし}
(一般財団法人国土技術研究センター内)
TEL: 03-4519-5006
JTB広報室 TEL: 03-5796-5833

<一般のお客様からのお申込み先>

JTBホームページ（現地観光プラン）

http://opt.jtb.co.jp/kokunai_opt/products/products.aspx?products=1015711

